

『私たちと森のこれから』

# 村上市森林組合

〒959-3907 村上市府屋 121-2  
 電話番号：0254-77-3121  
 Fax 番号：0254-77-2908  
 URL:https://e-woods.com



**ご挨拶**  
 新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。  
 本年も組合員の皆さま一人ひとりにとって幸多き年でありますようご祈念申し上げますとともに、組合運営に特段のご理解とご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

代表理事組合長

**齋藤 甲三**

昨年、二月の岩手県大船渡市をはじめ、全国各地で林野火災が発生いたしました。高温期が長く続き、「一季」と評されるほど、近年の気候変動は多方面に大きな影響をもたらしているのではないかと考えられます。

また、各地で異常とも思える熊の出没があつて人への被害も相次ぎました。このような事態は本当に驚きです。何かが変わってきているのでは、そんな感じを強く受けます。

餌不足だけではなく、里山の衰退を起因としたナラ枯れや人工林の荒廃等もその一因ではないかと考えられます。生態系の保全により健全な森林環境を取り戻すことへのより一層の取組みが大事だと思えます。

また、森林の整備は、今後とも公益的な機能や環境面ですます重要視されますし、地球温暖化対策が進められている一方で、森林が持つこれらの機能が十分に発揮されることへの期待がより大きくなっています。

私は、一層のこと、林業を「地域環境保全の産業」と位置

づけて、条件的に不利な地域の対策としても、林業従事者に対する「直接所得補償制度」があつてもよいのではと思つてます。そして、林業現場における安全性の確保とならんで、やはり、林業従事者の適切な社会的評価を高めていくことが大変重要なことなので、声をあげていきたいと思つています。

人口の減少と少子高齢化という中で、どうやって林業の担い手を確保していくか、木材の生産現場における影響は特に顕著です。持続可能な林業を目指すうえで、それこそ人材確保は喫緊の課題です。

将来、本当に森林を手入れしてくれる人たちがいるんだろうか、真剣に考え行動しなければなりません。

昨年、職員の退職が相次ぎ大変なご心配をおかけしましたが、その後、幸いにも森林整備技術職員として二十代の二名が入組いたしました。この四月には十代の一名の新採用を予定しています。若者の頑張りにより大いに期待をしています。

木材加工では、引き続き、軟弱地盤補強用の基礎杭として使用する「スギ木杭」と、「木製型枠パネル」を工場の主力商品として力を入れていきます。

組合員の皆さまのご期待に沿うよう役職員一同努めてまいりますので、今後ともご指導ご協力を賜りますようお願いを申し上げます。

## 役員改選です、積極的に立候補を!

今年は、任期満了に伴い、組合の役員である「理事」並びに「監事」の改選の年にあたります。このため、役員改選議案が令和8年度の通常総代会に提出される運びとなります。

組合の役員選任規程では、立候補を希望し役員への推薦を受けようとする方は、役員推薦会議に「役員推薦依頼書」のほか必要書類を添えて届けなければならないことになっており、その後、この役員推薦会議において、理事・監事別に候補者の選出を行い、決定した名簿を組合長に提出することと定めています。

そして、組合長は、提出された名簿をもとに、通常総代会に「役員改選について」の議案を提出し、ご審議をいただくこととなります。

そこで、改選となる役員の定数は理事会において、現行どおりの理事7名、監事3名とすることを決定しました。

また、立候補の受付時期については、後日、役員推薦会議を開催し決定します。概ね3月中旬から4月上旬頃を見込んでいます。

なお、役員候補者となることができない定めがあります。法人、未成年者や役員推薦委員のほか、就任時において満75歳を超える時などは候補者になれませんのでご注意願います。詳細については、別途お知らせします。

### 〇「役員推薦委員」のご紹介 (順不同・敬称略)

富樫 幸男 (府屋)	富樫 俊文 (府屋)	本間 一行 (堀ノ内)	五十嵐好勝 (岩石)
佐藤 治 (小俣)	間 誠 (雷)	菅原 敏彦 (中継)	大滝 邦彦 (北中)
斎藤 善文 (北黒川)	富樫 良勝 (荒川)	本間 正一 (間瀬)	斎藤 一法 (勝木)
大滝 博 (北田中)	菅原 新一 (板貝)	渡辺 一久 (脇川)	(以上15名)

【第5回理事会報告】 令和7年7月18日  
 ◎議決事項  
 一 前期末手当の支給について

【第6回理事会報告】 令和7年11月26日  
 ◎議決事項  
 一 後期末手当の支給について  
 二 改選役員(理事・監事)定数の決定について  
 三 総代選挙に関する役員承認について  
 四 固定資産の処分について  
 五 固定資産の取得について

【第7回理事会(予定)】 令和8年2月4日  
 ◎提出予定議案

- 一 「村上市森林組合就業規則」及び「村上市森林組合育児休業及び短時間勤務に関する規程」並びに「村上市森林組合介護休業及び短時間勤務に関する規程」の一部改正について
- 二 「村上市森林組合就業規則」の一部改正と「村上市森林組合短時間勤務に関する規程」の制定及び「村上市森林組合臨時職員及び嘱託職員に関する規程」の廃止、並びに「村上市森林組合嘱託職員、臨時職員及び契約職員に関する規程」の制定について
- 三 村上市森林組合給与規程の一部改正について
- 四 旧さんぼく小学校校舎等の使用許可申請について
- 五 県森林監査報告書に対する回答書の承認について

新たに就任される総代の皆さまのご紹介

総代選挙において、立候補届及び推薦届が定数を超えなかったため、総代選挙規程第 18 条の規定により新しい総代（総数 200 名）が決定しました。新たに総代になられる方、また引き続いて総代になられる方、どうぞよろしくお祈いします。

(順不同・敬称略)

区分等	氏 名						
第 1 区 (大川谷) (54 名)	富樫 俊文	富樫 智	富樫 忠雄	平方 和夫	富樫 証	青木 貴志	小田 克善
	増子 栄公	小林 友保	板垣 長雄	富樫 幸男	平方 金作	大平 虎一	大滝 慎一
	平方 栄勝	岩佐 英樹	小田 吉重	増子 直人	増子 宗厚	佐藤 禎	増子 幸雄
	富樫 善弥	平方 勝雄	富樫 由	平方 勝美	本間 一行	板垣 憲明	本間万寿男
	佐藤 繁樹	本間 光司	渡辺 長治	富樫 利栄	富樫 英美	大滝 雅人	富樫 平吉
	富樫 肇	富樫富士郎	松田 卓	富樫 賢一	佐藤 芳文	平方 和弥	平方 幸栄
	平方 和博	平方 元吉	五十嵐三補	五十嵐好勝	板垣 初男	板垣 嘉彦	板垣 孝治
	板垣 信彦	板垣 勝	板垣 敏春	板垣喜美男	板垣 清一		
第 2 区 (中俣) (40 名)	佐藤 信	佐藤 勝見	佐藤 敦	佐藤 信幸	佐藤 壮一	佐藤 治	田宮竹次郎
	田宮喜一郎	富樫 直年	大滝 勝秋	富樫 正一	伊藤 源吾	佐藤 繁	木村 晃
	木村 康志	木村 永久	木村 伸行	菅原 寿	五十嵐好一	村山 隆	菅原 政人
	菅原百合子	菅原 学	菅原 孝行	増子 豊	板垣 敦	菅原 正弘	菅原 登
	板垣 一郎	板垣 敏樹	大滝 孝蔵	東海林孝午郎	東海林良彦	大滝 敏彦	菅原 進吾
	大滝 博芳	大滝 国吉	大滝 幸男	大滝 茂	大滝喜代松		
第 3 区 (黒川俣) (34 名)	佐藤 義夫	佐藤 市徳	板垣 一徳	佐藤 晴彦	河面 秀喜	佐藤 栄作	佐藤 均
	渡部 忠	板垣祥一郎	加藤 晴喜	加藤 安登	佐藤 忠治	河面 専一	加藤 孝平
	佐藤 隆一	小田 秀夫	大滝 勝	大滝 泰博	斎藤 甲三	大滝 忠夫	大滝 誓生
	大滝 典和	斎藤 文生	斎藤 正幸	斎藤 善文	齋藤 史典	富樫 良勝	富樫 長政
	富樫 宗和	富樫 憲一	菅原 辰雄	菅原 義栄	菅原 廣茂	佐藤 輝夫	
第 4 区 (八幡) (40 名)	富樫 和雄	大滝 栄吉	小林 徹	富樫八十一	富樫 昌平	本間 隆	前田 三男
	松田 健	板垣 昭一	大平 直哉	板垣久二男	斎藤 一法	斎藤 寅二	斎藤 恵吾
	加藤 明	富樫 秀平	東 龍一	大滝 秀夫	富樫 芳勝	菅原トモ子	齋藤 裕
	斎藤 吉春	齋藤 茂英	齊藤 博幸	佐藤 真吾	佐藤 豊	佐藤 昭司	本間 市也
	加藤 優	五十嵐 信	板垣 新松	本間 尚哉	富樫 浩	斎藤 誠	大滝 善正
	大滝 一三	大滝 寿治	富樫 勝長	富樫 洋祐	富樫 栄		
第 5 区 (下海府) (32 名)	本間 留雄	田中 良幸	本間 光行	本間 一良	本間 敏夫	本間 茂	本間 亮子
	菅原 新一	佐藤 鳳英	渡辺 益雄	園辺 英司	中村 秀子	中村 幸人	中村 健児
	大鷹 明	渡辺 泰平	渡辺 一弥	渡辺 民矢	渡辺 等	渡辺 順蔵	渡辺 茂
	渡邊 玄洋	加藤 広輪	大滝 信和	本間 善和	本間 和郎	斎藤 久衛	斎藤 祐治
	斎藤 泰	斎藤 昭男	斎藤 通明	大滝 勝敏			

※任期：令和 8 年 3 月 1 日から令和 11 年 2 月 28 日までの 3 年間

バイオマス発電の運転に向けて事前集材が始まります！

村上市日下地内に計画の木質バイオマス発電所は敷地の造成などが始まり、令和 9 年（2027 年）12 月の運転に向けてその準備が進められているところです。

この発電所は、発電規模を 2,000KW とし、チップ原料となる未利用等燃料材は年間 3 万トンが必要としています。

当組合では現在、主に燃料材として使用される、いわゆる C 材の一部を新潟市や山形県長井市の燃料工場に納めています。

この発電所への出荷は近距離であるため、輸送費削減につながり、材も安定的かつ継続的に納められます。また、提示された取引価格は比較的有利であり、この価格に輸送距離ごとの運賃代が合算されますので、当組合にとっては大変有益な取引と考えます。さらに、村上市がトン当たり 500 円を補助する予定です。こうした状況を踏まえ、表 1 の素材取扱材積も考慮し、可能な範囲として年間の目標供給数量を 1,000 トン（1,250 m<sup>3</sup>）とし、昨年の 12 月に発電業者と供給契約を取り交わしました。また、今年の 6 月頃からは、府屋地内において燃料材の事前集材が始まります。村上市森林組合として、できるだけ対応していきたいと考えます。

ご理解ご協力をお願いします。



表 1 素材取扱材積の推移

(村上市森林組合)

		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
素材取扱材積	m <sup>3</sup>	14,363	13,448	10,032	8,990	6,934
	トン	11,490	10,758	8,025	7,192	5,547
うち C 材	m <sup>3</sup>	3,979	2,881	2,508	2,190	2,372
	トン	3,183	2,304	2,006	1,752	1,897

注) 令和 7 年度は、昨年の 12 月 31 日現在の数字です

※換算係数「0.8トン/m<sup>3</sup>」



斎藤 麻理奈  
(下大鳥)

早く仕事を覚えられるように頑張りたいと思います。

事務職員



大滝 良介  
(山熊田)

慣れない仕事ですが、一つ一つ手順を覚えながら体を慣らして仕事をしています。

森林整備技術職員



増子 陽太  
(府屋)

やる仕事が皆初めての作業で、関心をもって取り組んでいます。山仕事が終わるととても達成感があります。

森林整備技術職員

令和 7 年度の採用職員です  
よろしくお祈いします！